

受け入機関:医療機関(MSW) 実習プログラミング・ワークシート(例)

一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会

2013.11.13改訂

区分	実習のねらい	プログラム(実習経験)	指導方法・指導上の留意点	実習上で必要となる		
				価値・倫理(原理・原則)	技術	
事前学習	(1)事前学習 ①医療・福祉制度、実習機関の理解 ②対象者の特性の理解 ③ソーシャルワークの知識・技術・倫理価値観全般の理解	・ソーシャルワークに関する文献学習 ・医療・福祉制度に関する文献学習 ・倫理綱領・行動基準に関する文献学習 ・面接・コミュニケーション技術の学習 ・実習機関・対象者に関する学習	・「医療福祉実習マニュアル」を読んでもらい、ソーシャルワーク業務及び機関の基礎知識を習得できるように説明する ・大卒で学んだ面接法の振り返りを行う ・施設法的根拠等を事前に調べてきてもらう ・事前学習に必要な図書や文献等の提示を具体的にを行う ・倫理綱領、行動基準を読んでもらう	・医療・福祉制度に関する知識 ・実習機関に関する知識 ・疾病及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・倫理綱領及び業務指針 ・ソーシャルワークの知識全般 ・面接技法及びコミュニケーションに関する知識 ・バイステックの7つの原則 ・社会的なマナー(挨拶、服装、時間管理等)	・面接技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	「医療福祉実習マニュアル」 「医療福祉実習マニュアル」 「医療福祉実習マニュアル」 実習契約書、合意書、指針 ・実習機関のパンフレット、ホームページ ・病院組織図 ・就業規則、個人情報保護規定 ・ソーシャルワーク部門年度総括・方針計画 ・実習プログラミング・ワークシート ・倫理綱領・行動基準 ・医療ソーシャルワーカー業務指針 ・関係図書
	(2)事前訪問 ①実習課題や目的の明確化 ②実習におけるルールの確認 ③実習機関及び実習スーパーバイザーとの関係づくり	・実習計画書の作成と検討 ・ケース研究についての書式と方法の確認 ・事前学習の進捗状況についての確認 ・機関の機能や役割についての説明及び質疑 ・機関内見学 ・実習における注意事項及びルールについての説明	・実習課題を確認し、必要な実習体験について協議し、実習計画書を一稿に作成する ・ケース研究について、各養成校で用いる書式と内容を確認し、実習開始後の展開について説明する ・実習計画書は具体的にかつ現実的で、評価がしやすいように作成してもらうように説明する ・事前学習で学んだ内容などを持参してもらい、それらの理解を共有する ・実習契約書及び合意書、指針を見せると、実習生の役割を明確化する ・実習機関における注意事項及びルール(就業規則、服務規程等)について説明する	・実習初日に再度実習計画書を確認し、具体的な実習プログラムの環境について説明する ・実習記録の書き方について指導する。特に経験した事実、指導や説明を受けた内容と、自分の感じたことや考察を付けて記載してもらう ・施設概要を理解したかスーパービジョンやロールプレイ、日誌等で確認する ・組織運営や経営については、委員会等への見学が難しい場合、口頭及び資料を提示して説明する ・実習機関の事業計画、事業報告、予算、決算について可能な範囲で実習生へ提示し説明する	・医療・福祉制度に関する知識 ・実習機関の種別や役割に関する知識 ・他職種・チームアプローチに関する知識 ・医療や福祉を取り巻く現状についての知識 ・ソーシャルワーカーの役割・業務内容についての知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術
第一週	(1)実習内容の確認	・実習オリエンテーションを行う ・事前学習の状況及び実習プログラムの確認	・実習初日に再度実習計画書を確認し、具体的な実習プログラムの環境について説明する ・実習記録の書き方について指導する。特に経験した事実、指導や説明を受けた内容と、自分の感じたことや考察を付けて記載してもらう ・施設概要を理解したかスーパービジョンやロールプレイ、日誌等で確認する ・組織運営や経営については、委員会等への見学が難しい場合、口頭及び資料を提示して説明する ・実習機関の事業計画、事業報告、予算、決算について可能な範囲で実習生へ提示し説明する	・医療・福祉制度に関する知識 ・実習機関の種別や役割に関する知識 ・他職種・チームアプローチに関する知識 ・医療や福祉を取り巻く現状についての知識 ・ソーシャルワーカーの役割・業務内容についての知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	
	(2)実習機関の理解	・実習機関の役割・機能について具体的に説明 ・実習機関の組織運営や経営について説明 ・実習機関の根拠法令等(医療法、施設基準、診療報酬)についての説明 ・現在の医療・福祉の動向について説明	・施設概要を理解したかスーパービジョンやロールプレイ、日誌等で確認する ・組織運営や経営については、委員会等への見学が難しい場合、口頭及び資料を提示して説明する ・実習機関の事業計画、事業報告、予算、決算について可能な範囲で実習生へ提示し説明する	・医療・福祉制度に関する知識 ・実習機関の種別や役割に関する知識 ・他職種・チームアプローチに関する知識 ・医療や福祉を取り巻く現状についての知識 ・ソーシャルワーカーの役割・業務内容についての知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	
	(3)各部門・職種との関係	・各部門・職種とその機能と関係についての説明 ①他部門、他職種の理解 ②他部門、他職種との関係の理解 ③他職種の業務見学及び体験	・他職種の役割やソーシャルワーカーとの連携状況についての理解を確認する		・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	
	(4)ソーシャルワーク部門の理解	・ソーシャルワーク業務の説明 ・ソーシャルワーカーの業務同行(面接、電話、連携、カンファレンス、ミーティング、病状説明等) ①機関でのソーシャルワーカーの役割・特性の理解 ②ソーシャルワーカーの介入過程の全体理解 ③ソーシャルワーカーの1日目の業務理解	・業務同行等の観察ポイントを具体的に提示する ・面接同行のポイントと注意事項を説明する ・ソーシャルワーク記録を数多く読み込み、クライアント及び家族がどのような生活課題を持っていて、ソーシャルワーカーがどのように支援しているのかを理解してもらう	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術		
	(5)一週目の振り返り	・一週目の振り返りと二週目に向けてのオリエンテーション	・一週目の振り返りを行い、実習計画書の達成状況及び二週目の目標や課題を一緒に共有する			
	(6)一週目の振り返り	・一週目の振り返りと二週目に向けてのオリエンテーション	・一週目の振り返りを行い、実習計画書の達成状況及び二週目の目標や課題を一緒に共有する			
第二週	(1)ソーシャルワーカーについての理解	・ソーシャルワーカーの姿勢や態度を観察 ・ソーシャルワーカーの実践を倫理綱領と照らし合わせる ・ソーシャルワーカーの業務同行(面接、電話、連携、カンファレンス、ミーティング、病状説明等) ・ソーシャルワーク記録の閲覧 ①実証におけるソーシャルワーカーの価値・倫理的理解 ②具体的な業務内容についての理解	・業務同行等の観察ポイントを具体的に提示する ・面接同行のポイントと注意事項を説明する ・ソーシャルワーク記録を数多く読み込み、クライアント及び家族がどのような生活課題を持っていて、ソーシャルワーカーがどのように支援しているのかを理解してもらう	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	医療及び福祉に関する資料(パンフレットや文献)カルテ(診療録、看護記録、リハビリテーション記録等) ・診療報酬に関する資料(診療報酬加算、患者サポート体制加算、介護連携指導料、地域連携バス)倫理綱領、行動基準、業務指針 ・ソーシャルワーク記録 ・実習機関パンフレット ・院内組織図 ・カンファレンス資料 ・入院相談記録 ・フェイスシート ・ソーシャルワークモデル・実践理論 ・アセスメント技術 ・グループワークモデル・実践理論	
	(2)クライアント及び家族とそれらを取り巻く環境の理解	・ソーシャルワーク記録、カルテ等の閲覧 ①病棟から発生するクライアント・家族にまつ生活課題について理解する ②クライアントや家族の生活や環境についての理解	・業務同行等の観察ポイントを具体的に提示する ・面接同行のポイントと注意事項を説明する ・ソーシャルワーク記録を数多く読み込み、クライアント及び家族がどのような生活課題を持っていて、ソーシャルワーカーがどのように支援しているのかを理解してもらう ・これまで関わってきたケースの振り返りを行い、ケース研究の対象者を検討、選定する	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	医療及び福祉に関する資料(パンフレットや文献)カルテ(診療録、看護記録、リハビリテーション記録等) ・診療報酬に関する資料(診療報酬加算、患者サポート体制加算、介護連携指導料、地域連携バス)倫理綱領、行動基準、業務指針 ・ソーシャルワーク記録 ・実習機関パンフレット ・院内組織図 ・カンファレンス資料 ・入院相談記録 ・フェイスシート ・ソーシャルワークモデル・実践理論 ・アセスメント技術 ・グループワークモデル・実践理論	
	(3)二週目の振り返り	・二週目の振り返りと三週目に向けてのオリエンテーション	・二週目の振り返りを行い、実習計画書の達成状況及び三週目の目標や課題を一緒に共有する			
第三週	(1)インテークについての理解	・ソーシャルワーク支援過程における契約についての説明と契約場面 ・面接技法の説明(かかわり行動と基本的傾聴技法) ・インテーク面接前の情報収集の方法の説明と体験 ・インテーク面接に同席、ロールプレイ、体験	・契約の目的や意味を説明し、ロールプレイや実際の面接場面において具体的に理解させる ・信頼関係構築のための、バイステックの7つの原則を面接場面でのように意識しているのかを説明する ・かかわり行動と基本的傾聴技法を確認する ・情報収集のためのカルテの閲覧やソーシャルワーカーと一緒に関内を行動する ・できるだけ多くのインテーク面接に同席させ、ソーシャルワーカーがクライアントとどのように信頼関係を構築しているかを観察、理解をさせる	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	カルテ(診療録、看護記録、リハビリテーション記録等) ・ソーシャルワーク記録 ・アセスメントシート ・マッピングシート ・フェイスシート ・スクリーニングシート ・面接記録 ・入院相談記録	
	(2)アセスメントについての理解	・アセスメントについての説明 ・アセスメントのための情報収集の方法の説明と体験 ・アセスメント面接に同席、ロールプレイ、体験 ・アセスメントの体験	・面接した面談の逐語録をとり、面接技術、価値、倫理等を理解させる ・機関で用いているアセスメントツールの説明を行う ・アセスメントシートを作成してもらい、ソーシャルワーカー(スーパーバイザー)のアセスメントと比べる ・支援過程の中でアセスメントは繰り返されることを説明し、クライアントの状況変化に合わせてアセスメントの必要性を説明する	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	カルテ(診療録、看護記録、リハビリテーション記録等) ・ソーシャルワーク記録 ・アセスメントシート ・マッピングシート ・フェイスシート ・スクリーニングシート ・面接記録 ・入院相談記録	
	(3)支援計画(プランニング)についての理解	・プランニングについての説明 ・支援計画の作成	・面接した面談の逐語録をとり、面接技術、価値、倫理等を理解させる ・機関で用いているアセスメントツールの説明を行う ・アセスメントシートを作成してもらい、ソーシャルワーカー(スーパーバイザー)のアセスメントと比べる ・支援過程の中でアセスメントは繰り返されることを説明し、クライアントの状況変化に合わせてアセスメントの必要性を説明する	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	カルテ(診療録、看護記録、リハビリテーション記録等) ・ソーシャルワーク記録 ・アセスメントシート ・マッピングシート ・フェイスシート ・スクリーニングシート ・面接記録 ・入院相談記録	
	(4)モニタリング・評価及び最終結核についての理解	・モニタリング・評価についての説明 ・モニタリング場面 ・モニタリング結果の再アセスメントにつなげた事例があれば、過去の事例でもよいので説明する	・モニタリング・評価についての説明 ・モニタリング場面 ・モニタリング結果の再アセスメントにつなげた事例があれば、過去の事例でもよいので説明する			
第四週	(5)地域活動についての理解	・実習機関のある地域の特性と福祉課題について説明 ・地域の福祉課題について理解 ①地域関係機関との連携についての理解 ②地域関係機関との連携についての理解 ③地域関係機関との連携についての理解 ④地域への働きかけの方法(アウトリーチ)についての理解 ⑤職能団体に関する理解	・実習機関のある地域の特性、諸制度、社会資源について調べさせる ・地域の福祉課題について調べさせる ・地域の関係機関の会議や勉強会に参加させ、連携について理解を深めさせる ・実習機関が行う地域に対する広報啓発活動について説明し、機会があれば企画、運営へ参加させる ・ソーシャルワーカー及び職能団体が行っている(行った)ソーシャルアクション事例について説明し理解させる ・北海道医療ソーシャルワーカーの勉強会及び研修会に参加し、北海道医療ソーシャルワーカーのつながり、学びの場を観察・体験してもらう	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	自治体のホームページ ・社会資源マップ ・ソーシャルアクション ・イベント企画技術 ・広報啓発技術 ・地域関係機関の資料 ・職能団体の規約、機関誌、研究誌等 ・地域の会議や勉強会の資料	
	(6)モニタリング・評価及び最終結核についての理解	・モニタリング・評価についての説明 ・モニタリング場面 ・モニタリング結果の再アセスメントにつなげた事例があれば、過去の事例でもよいので説明する	・モニタリング・評価についての説明 ・モニタリング場面 ・モニタリング結果の再アセスメントにつなげた事例があれば、過去の事例でもよいので説明する			
事後学習	①実習課題の達成目標について振り返る ②実習記録及び実習成果について振り返る	・実習報告書の作成 ・実習報告書の準備 ・実習課題の整理と事例研究のまとめ	・実習報告書を確認する ・実習報告書等に参加し、これまでの実習を深められるよう発言・質問する ・実習成果の評価をする			実習評価表 実習報告書 ケース研究報告